

# リーディングDXスクール事業【実践事例】

佐世保市立中里中学校（長崎県）

## 【取組内容④】「対話的・協働的な職員研修」

### ◇クラウドを活用した全職員の意見共有・共同編集（Googleスプレッドシート）

- ・限られた時間内で全職員の意見を聞けるよう、職員研修リフレクションシートを活用する。（Googleスプレッドシート）
- ・外部講師の講義型研修では、講義メモを白紙共有し、全職員で共同編集する。（Googleドキュメント）  
参考になるWebページの情報を調べて載せるなど、**考えや追加資料を共有しながら講義内容を深める**ことができる。
- ・各種部会の研修に赴いた一部職員が講義メモを共有することで、クラウド上で伝達研修が完了する。

### 【教師の変容】

- ・即時共有、共同編集のよさを実感し、授業にも取り入れようとする姿が見られるようになった。
- ・アウトプットする場所があることで、議論が活性化することが増えた。
- ・クラウド上に記録が残ることで、時間を置いて別の場所で議論が再燃することもあった。
- ・スムーズな情報共有のおかげで、互いの状況や校務に興味を持つようになった。

リフレクション				6/20(火)	6/20(火)
学年	学級	教科	名前	リーディングDXスクール事業・今後の校内研修に関する疑問点・質問・意見	授業内外でやったことのあるまたは、これからやる「個別最適な学び」※ICTの有無関係なく
1	1	理科		どんな事業なのか、なかなかイメージができませんが、協力できることは協力していきたいと思えます。	
1	2	音楽			・楽典についての学習で学習支援ソフトを活用しました。練習問題など個別の学びができて良いのですが、勝手に動画サイト等を見ている生徒がいて、またそこで指導すべきことが増えるため使うのを控えています。
1	3	数学		・事業に関して、わかりやすく先生方にお伝えして、スムーズに年度末のまとめ作業ができるように頑張ります。	・問題演習にて、ノルマの問題が解けた人は、残り時間との問題をするか自分で選ばせている。（学習内容の個別化）

R5.8.28講義メモ (長崎大学・...)

学びの責任 教師の責任 生徒の責任 バラス  
今後の展望 江戸時代（寺子屋）スタイルから学ぶ？ 一斉・協働・個別を同時に行う。

GIGA構想の役割（倉田先生）  
①主体的に情報を得る 情報の取捨選択 解釈する力  
②ICTは認知活動の入口  
③（未来）学習データの分析→子ども自信の長所・短所が浮き彫りになるかも。（教育データ）

学習スタイル具体例  
[https://www.mext.go.jp/content/20201023-mxt\\_kyoiku01-000010203\\_7-1.pdf](https://www.mext.go.jp/content/20201023-mxt_kyoiku01-000010203_7-1.pdf) (P173~174)

沖縄の事例 マイブランチタイム（生徒が自分で学ぶ時間／学習のすすめ方を部分的にゆだねる先生が様子を見て声かけ・指導（AIにはできない）  
友達を見る（友だちと自分をひかきする）、自分たちでグループ編成

初期指導○ その後ゆだねる

学力だけでなく資質・能力もみずえた授業  
愛知県春日井市・藤山台小学校（複線化の授業） ←R4写真に視察時の写真が入ってます  
予算45000円／ひとり